

# 生涯学習部 中央図書館

( 1 事業 )

事務事業名	ページ
図書館管理運営事業	2 1 4

# 事務事業評価シート（平成23年度実施事業）

## 1 事務事業に関する基本情報

所属	生涯学習部 中央図書館 図書係		
まちづくり大綱	第1節 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち		105
まちづくり目標	③ 自らの興味・関心に応じていつまでも学び、活躍できるまち		
施策	1-5 市民が主体となった学習活動の充実		
事務事業名	図書館管理運営事業		
予算科目	一般会計	10 款	5 項 3 目 3 細目
根拠法令	図書館法、東広島市立図書館設置及び管理条例		

## 2 コスト情報

		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	
コスト	事業費	事業費合計(A)	221,212 千円	159,435 千円	190,525 千円	279,139 千円
		国県支出金	54,629 千円	3,240 千円	27,805 千円	0 千円
		地方債	千円	千円	千円	0 千円
		その他	千円	千円	千円	0 千円
		一般財源	166,583 千円	156,195 千円	162,720 千円	279,139 千円
	人件費	人件費合計(B)	- 人	- 人	55.56 人	- 人
		正規職員	- 人	- 人	17.40 人	- 人
		嘱託職員	- 人	- 人	16.17 人	- 人
		臨時職員	- 人	- 人	21.99 人	- 人
		総事業費(A)+(B)	221,212 千円	159,435 千円	317,160 千円	279,139 千円
人件費/総事業費	- %	- %	39.93 %	- %		
事業費の主な内訳 (平成23年度決算)	【委託料】中央図書館改修工事設計業務 【委託料】中央図書館管理業務 【備品購入費】移動図書館車 【備品購入費】図書25,320冊				7,418,250 円 6,174,000 円 17,897,490 円 42,086,295 円	

## 3 事務事業の概要

目的 (何のために)	生涯学習の拠点として、図書資料の閲覧、貸出等により、市民の必要とする知識や情報を提供し、自らの興味や関心に応じて主体的に学ぶことを実現する。	
対象 (誰・何を対象に)	市内に居住、もしくは通勤、通学している者	
事業内容 (手段、手法など)	<p><b>1 蔵書の充実</b> 読書、調査研究等の市民のニーズに応えるため、蔵書のさらなる充実を図る。</p> <p><b>2 移動図書館</b> 中央図書館及び黒瀬図書館から市内の各地を移動図書館車で巡回し、広く市民にいつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できるサービスを実施している。</p> <p><b>3 読書活動の支援</b> 移動図書館車で市内の小学校を巡回し、学校の読書活動の支援を行っている。</p> <p><b>4 行事</b> 各図書館でおはなし会等の行事を開催し、図書館に親しむ機会を創出する。</p> <p><b>5 開館時間延長の取組み(中央図書館のみ)</b> 中央図書館で、開館時間の1時間延長を試行実施した。</p> <p><b>6 図書館資料の予約</b> 各図書館の窓口及び館内蔵書検索機で予約を受け付けている。また、インターネットの蔵書検索サービスを提供し、利用者のパソコンや携帯電話からの予約受付を常時行っている。</p>	
実施方法	方法	
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	主な事業内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	館管理業務、図書資料等配送業務、図書館システム保守業務、移動図書館車運転業務等
	<input type="checkbox"/> 指定管理	
	<input type="checkbox"/> 補助金	
	<input type="checkbox"/> 貸付	

#### 4 取組・実績

活動・結果	(1) 移動図書館車の巡回 市内小学校 35 校、中学校 2 校、特別支援学校 2 校、幼稚園 2 園、一般ステーション 23 か所を年 10～11 回巡回した。												
	(2) 開館時間延長の取組み(中央図書館のみ) 18 時から 19 時までの入館者及び各月の前年度比較の状況 (単位: 人)												
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	18～19 時	1,294	1,544	1,893	2,130	2,257	1,883	1,558	1,390	1,199	1,298	1,032	1,468
	22 年比較	350	△866	△404	902	△950	155	△1,098	2,693	389	648	198	2,393
活動・結果 実績	【活動・結果指標名】		単位	21年度		22年度		23年度					
	蔵書冊数		冊	546,481		563,357		583,376					
	月例行事数(おはなし会等)		件	23		25		24					
	月例以外の行事数(おはなしフェスタ等)		件	41		38		39					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	総事業費/蔵書冊数		円/冊	405		283		544					
成果目標 (指標設定理由や、 数値上では現れ にくい成果)	利用状況を把握し、より一層の利用増を図るため、市民一人当たりの個人貸出冊点数及び予約点数を成果指標に設定している。												
成果実績 (目標達成状況等)	【成果指標名】			単位	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標値)	26年度 (目標値)				
	市民一人当たりの個人貸出冊点数(年間)			冊点	6.31	7.22	7.38	7.44	7.86				
	市民一人当たりの予約点数(年間)			冊点	0.39	0.55	0.63	0.73	0.91				

#### 5 事務事業の評価

視点	評価項目	項目の説明	評価	
必要性	市の関与の妥当性	市が実施する理由、事務事業の目的、対象者の範囲等の妥当性はどうか	B	対象範囲の見直し等、検討の余地がある。
	市民ニーズの傾向	市民ニーズ(サービス需要)は増えているか	B	増加傾向にある。
有効性	類似事業の有無	他部局や国、県、民間企業等で同じような事務事業が存在するのか	A	類似した事務事業は存在しない。
	成果の達成度	想定した成果(目標)をあげることができたか	B	想定どおりの成果
効率性	コスト削減の余地	実施手段の適正化、電子化、人員の見直し等により、コスト削減の余地はないか	B	一部、削減の余地がある。
	負担割合の適正度	コスト全体に占める自治体の負担(補助)割合は適正か	A	概ね適正な負担割合である。
	民間活力の活用	民間委託、指定管理者の導入等、より良い代替策は検討できないか	B	一部、民間活力を活用済
施策への貢献度	施策推進において影響度、重要度、貢献度が高い事業か	B	一定の影響度、貢献度がある。	
優先度	施策の成果向上を重点的に図るため、優先的に推進していく必要があるか	B	現状どおりでよい。	
評価区分	それぞれの観点により、どう評価したか	<b>B 【順風】現状の計画どおり進めることが妥当</b>		
総合評価 コメント	国、県にも図書館はあるが、市立図書館とは役割を異にしており、類似事業はないと評価している。利用も増加傾向にあり、生涯学習の拠点施設としての中心的役割を担っていることから、今後も継続して施策を推進していく必要がある。			
課題および 今後の方向性	業務は、概ね計画どおりに進めており、引き続き、本事業を推進することとする。しかし、市民ニーズに応え、更なる利用拡大を図るため、開館時間の1時間延長を試みたが、顕著な利用者の増加は認められなかったため、今後は手法を変えて、祝日開館等を試行することとする。また、効率性を考慮するなか、窓口業務等の委託を含め検討していく必要がある。			